

議 事 録

令和2年3月27日

会 議 名	一般社団法人天草宝島観光協会第6回理事会
日 時	期 日：令和2年3月27日（金） 時 間：14時00分～16時00分
場 所	天草宝島国際交流会館ポルト 多目的ホール
議 事 内 容	
出席者	出席理事：山本博、馬場昭治、山下修平、松本國雄、松本英樹、松永英也、金子信之、 平下豊、崎本弘訓、田口京重、濱崎宗治、田中光徳、米田揚昌、下田貴久、 中村健一郎 15名 欠席理事：下田昇一郎、上垂希子、浜崎昭臣、高廣宗明、原田茂、浜悦男、永田章一、 藤本貴士 8名 出席監事：田崎良輔、岡部秀喜 事務局：赤木聖一、城下聡子、大塚純子、中村彩、吉田綾、濱崎美圭、古川雄一 8名
議事録署名者	会長 山本博 監事 田崎良輔 監事 岡部秀喜
議 題	別添レジュメのとおり
1 開会	(専務理事 馬場) 只今から令和元年度天草宝島観光協会第6回の理事会を開会いたしたいと思います。
2 会長報告	毎日売り上げを出して前年、前前年比を出して月ごと日ごと年ごとで比較をしているのですが、今年3/23,24,25と三連休をしましたので3月23日現在で、1月から3月までの間で1万人ぐらいお客様が減っています。前前年が75,000人ぐらいで去年が72,000人で年間3,000人ずつぐらい減っている状況でしたが、それは色々な原因があるんですけど、人口減少とかがあると思うんですけど、今年10,000人減です。特に2月になるまで年末年始も奮いはしなかったが、3月に入ってからは半分という形で、4月5月になってからどのような状況になるか予測がつかない状況になっています。会長としていろいろな所にお呼ばれして会議や出張があるのですが、2月の時点で3月も全て

(一社) 天草宝島観光協会

キャンセルになりまして、そういう風な移動は白紙になりました。4月も2回関西東京に行く予定でしたが、白紙になっています。全国的に大変な状況だなと思っております。佐賀の武雄市は1億円キャンペーンを打ち出されました。1億円補助を出して半額、飲食店にも補助を出すようなのを打ち出されましたが、今お客様にきてくれというのは不謹慎で大変かもしれない。コロナを広めるかもしれないとおっしゃっていましたが、経済をとめることはできないからということで、武雄市は特に観光の町ですので、背に腹は代えられないということでそういう風なことを打ち出さないと武雄の経済界がダメになってしまうので、キャンペーンを張らせていただくというような会見でございました。天草市も同じように色々考えてらっしゃいます。市との協議もコロナが始まってから観光課・市長さんと話をする機会が多いんですけど。春の満喫キャンペーンを行っていましたが、そちらが順調だったんですけどコロナの影響で足が止まってしまって3月いっぱいまで延長をしました。そのあとの予定は組んでなかったんですけど、やはり4月から7月までの間に市としても何か対策を打たないとお客様を呼び込めないだろうということで、まだ決定ではないですけど、春の満喫キャンペーンと似たようなキャンペーンをされる予定とのことです。観光協会に協力してほしいとのことで、こちらもコロナ関係があるんですけど、今年度の予算が余っております。200万~300万今年度の予算で使っていないものが出てきています。それを市の方に陳情をしまして今までは余った分については市の方に返納するという形で繰り越すということが出来なかったのですが、それを繰越という形でコロナの対策として使うことができないか市に話をしたんですが、財政上繰越という形は難しいがコロナ対策として分かる形にすれば新予算で執行は可能とのことでしたので、300万を新年度の予算と別枠で使えるように協議を行っております。観光協会の会員さんのみで使える観光商品券として使えないかと考えております。できるかどうかはわかりませんが、市の方も普段とは違う特例ということでだいぶ協力的というか天草の経済を止めるわけにはいかないの、何かきちんとやらないといけないということで模索をしております。事業所さんで色々対策をされているかと思いますが、まず第一は天草で感染者をださないということではないかと思えます。普段から心掛けないといけません。手洗い・消毒など特に私たちは不特定多数のお客様を相手にするので、天草に訪れた方が天草に持ち込まないように。天草で発生してしまうと天草全体にお客様が入ってこないということになりますので、お客様が来られた時に積極的に消毒をやっていただいて収束に向かうまでに感染者がでないように努力をするべきだと思います。収束したときにお客様にきていただけるように考えていかなければならないと思います。みなさんの方からもこんなことができないかとかこういうことをしたらどうかというような要望等もあるかと思えますので、そういったことも事務局だったり私に言っていただけてできることはきちんと進めていきたいと思えますので、みなさまのご協力をよろしく願います。お忙しいところ集まっていただきましたが、この決算予算を承認していただいて4月1日から事業を始めるために年度末の忙しい時に集まっていただくこととなりますが、このお忙しい時に集まっていただかなくていいように余裕をもってどうにかできるように協議を進めていきたいと思っております。時間のない中ですが、スムーズな進行とご協力をお願いいたします。

事務局からの報告

・塚本の退社について

(事務局 赤木)

議題に入ります前に事務局よりご報告をさせていただければと思います。8月から入りました塚本が今月末をもって退社することとなりましたので、ご挨拶をさせていただきます。

(一社) 天草宝島観光協会

(事務局 塚本)

8月に入らせていただきました塚本と申します。お世話になりました。私事ではございますが、3月末をもってリタイアさせていただくことになりました。今後は個人事業主として立ち上げて主に移住をしたい方のご相談やパソコンができるのでそういったところでお手伝いをさせていただきながら、やっていきたいなと思っております。観光協会に入りましてこういった皆様をはじめとする色々な方にお会いできる機会をいただきまして今までの仕事ではお会いできなかったようないろんな業種のいろいろなお話を聞けました。ありがとうございました。ただし、観光協会に在ること、できることとできないことがありまして自分のやりたいように個人でやっていきたいなと思っておりました。短い間ではございましたが大変お世話になりました。ありがとうございました。

(事務局 赤木)

ありがとうございました。本来であれば議事進行を馬場専務理事が行うんですけれども、遅れてこられますので、その間山本会長にお願いしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

(山本会長)

はい、わかりました。それでは早速議題の方に入らせていただきたいと思います。(1)新型コロナの影響についてと(2)事務局体制について続けてお願いします。

(事務局 赤木)

会長すみません。(1)は(1)で一回締めさせていただきます、(2)(3)(4)が関連があるので、一緒に諮らせていただければと思います。

(山本会長)

はい、わかりました。

(1)新型コロナウイルスの影響について

(事務局 赤木)

(1)新型コロナウイルスの影響について報告させていただければと思います。

資料は10ページをご覧ください。新型コロナウイルス天草関連の影響について2月末に事務局の方で調査させていただきました。ご協力ご回答いただきまして皆様ありがとうございます。こちらニュースなどでも報道されておりましたけれども宿泊キャンセルが3月上旬(5日の時点)で6,200人キャンセル数でございます。宴会・食事という当協会の確認できたところで11,000人分、イルカウォッチングで6,800人分のキャンセルが出ている状況でございます。キャンセル数なので、これ以降キャンセルがさらに出ているという状況でございます。続きまして11ページが当協会の会員さんから要望等あればお知らせくださいということで併せていただきました回答でございます。上が宿泊の意見等でございます。続きまして12ページ目から14ページまでが理事の皆様、監事の皆様から同様に回答いただきまして今後の観光協会としての対応策であったりご意見等があればご意見くださいということで案内しましてご回答いただきましたものを掲載させていただいております。一つ一つ説明すると時間が長くなりますので、事前にご確認をいただければと思っております。15ページ目が皆様からいただいた案を簡単にまとめたものになり、観光協会として今後考えられる対応策となりま

す。一つが、まず現在の状況から終息まで、終息するタイミングが全く見えないというのが現状ですが、それまでの対策を考えたということと、2つ目が終息した後、どうするかというところの対応策として2つ大きく分けて考えた方がいいのではないかと思います、今いただいたいろいろな意見を記載させていただいております。引続き、15 ページ、16 ページを併せてご説明させていただきます。

(事務局 大塚)

16 ページをご覧ください。現在観光協会のホームページで広告収入をいただいておりますけれども、3/11 正副会長会の時に新型コロナウイルスにより売り上げ・収入が落ち込んでいるという状況でしたので、バナー広告・宿泊特集ページ・飲食ページの広告収入を月額 19 万 8,000 円いただいているのですが、こちらを3か月分免除という形になっております。参加していただいている会員各社にはすでに通知をしているところです。17 ページをご覧ください。天草観光商品券についてでございます。現在写真買い取りキャンペーン及び冬の満喫キャンペーンで500円券及び1,000円券を発行しているかと思いますが、こちらも新型コロナウイルスの影響で会員施設を回っていただくために来年度も500円券の発行を考えております。参加施設の条件としまして法人会員及び上天草に店舗があります賛助会員を対象とすること。換金率がこれまで100%でしたが、来年度以降95%、振込手数料は店舗負担とするというのが変更点となります。スケジュールとしまして3月末に会員さんに募集を行いまして4月中旬に募集を締切り、参加施設を決められればと思います。以上です。

(事務局 赤木)

以上コロナウイルスに関する報告でございます。

(山本会長)

先ほどの報告について何かご意見等ございますでしょうか。

観光商品券はいくらぐらい流通しているのですか。

(事務局 赤木)

200万円弱程度です。

(山本会長)

換金されているのはいくらぐらい？

まだそんなに換金されていない？

(事務局 赤木)

今年度末で締切をさせていただいているので、まだ換金されていないところもあり換金率まではまだ不明です。

(山本会長)

何か他にございませんでしょうか？

ないようですので、議題の(2)～(4)に移りたいと思います。事務局の方からお願いします。

(2) 令和2年度事務局体制について

(3) 令和2年度事業計画(案)及び令和2年度予算(案)について

(4) 令和元年度予算残について

(事務局 赤木)

(2)(3)(4)についてご説明させていただきます。資料は18ページをご覧ください。令和2年度事務局体制についてご説明をさせていただければと思います。先ほど塚本からご報告させていただきましたとおり3月末をもって塚本が退社となっております。それに併せて令和2年事務局体制につきまして塚本の代わりに新規採用を行わないということで、正副会長会で決定しましてそれに併せまして1名減となりますので、業務の見直しを現在打診であったり協議を行っているという状況でございます。見直しを行っている業務を報告させていただければと思います。まず1つ目が天草宝島案内人の会の事務局業務でございます。案内人、ガイドさんの事務局業務及び手配業務を当協会で行っていたのですが、その部分につきまして市から受託を受けて行っていたのですが、その業務が非常に煩雑であったため1名減に伴いまして案内人と協議しまして2ヶ月後、5月末まで事務局をしてそれ以降は案内人の会で協議をしていただいで進めていただくということで協議をしているところでございます。天草東支部の事務局についてでございます。こちらも塚本が行っていたところなのですが、東支部の金子理事・松永理事・原田理事と協議をさせていただいて当協会の事務局ではなく、外部に委託をするということで話がまとまりまして今協議を最終的につめているところでございます。こちらは外部委託として塚本が個人事業主となるということでしたので、ノウハウもありますので、そちらに委託するという形で考えております。こちらは業務の見直しということで正式には確定してはおりませんが、観光パンフレットにつきまして今現在問い合わせがあった場合に無料で発送しております。そちらにつきましても印刷のコストや発送のコスト、件数も非常に多くございますので、こちらについても次年度は有料化に向けてなおかつ収益化できるようにしていきたいと思っております。併せてホームページも充実させておりますので、そういったところで情報共有していきたいと思っております。電話回線につきましては現在1回線のみ開線をしているという状況でございます。併せまして天草市からの受託事業といたしまして打診がありました受託事業につきまして現在人員の削減に伴いまして受託できないというところで回答をさせていただいております。そういったところで影響が出てくるかなと思いますので、ご理解いただければなと思っております。続きまして19ページ目が令和2年度の事務局体制になります。担当業務につきましては今現在最終調整中でございます。変更等がある予定でございますので、決まりましたらまたご報告させていただければなと思っております。事務局体制が変わったうえでの事業計画と予算についてご報告させていただきます。

(事務局 大塚)

資料の21ページ目をご覧ください。令和2年度基本方針となります。第5回理事会でお謀りしている部分で変更になった部分をご説明いたします。地域で稼ぐプロジェクトの部分ですが、先ほど局長から説明がありましたが、こちらに観光ガイドの活用というのが入ってございましたが、そちらが見直しということになっております。天草だからこそ！プロジェクトの中にメディアを活用した情報発信というのがあったのですが、そちらの中に島民参加型のCMをプロモーションとして1年間してたんですけど、効果がみえないということで、天草市の方からございましたので、こちらがなくなりましたので、基本方針からも削除しております。22ページ目をご覧ください。お手元に配っておりますA4ペーパー1

枚の 22 ページをご覧ください。こちらの中で先ほど会長のご挨拶の中にもありましたが、1. 各種キャンペーンの実施及び販売活動の推進の中に新型コロナウイルスによる観光客観光消費額の減少に伴う必要経費及び終息後の対策というところで 180 万円あげております。こちらは新型コロナウイルスによる各支部でのイベント等が中止になっておりましてそれに伴い予算残が出た部分と本年度旅の思い出を活かしたモデルルートを作成しておりますが、モデルルートの作成はシステムの導入経費のみで済んでおりまして入力作業は当協会の職員で行っておりますので、その分の事業経費を充てております。観光商品券をこちらで発行できればと考えております。変更になった部分なんですけど 23 ページをご覧ください。2. 観光に関する調査研究並びに情報の収集・提供というところで、1. 情報の収集マーケティング調査費が当初 100 万円だったのですが、現在天草市で実施しております観光動態調査と一本化するということで半分になりまして今現在各種キャンペーンでアンケート調査をしている部分を調査・収集費ということで 50 万円になっております。24 ページをご覧ください。業務受託の部分になります。変更点の方は 1 観光宣伝及び観光客の誘致なんですけれどもこちらに CM プロモーション経費が入ってございましたが、先ほど説明がございましたとおり効果がわかりにくいというところで現在残っておりますのが、崎津集落の世界文化遺産・イルカウォッチングなどの取材情報経費など 216,000 円となっております。3. 観光客の受け入れ態勢整備のところにおもてなしの向上事業としまして昨年夏に実施しましたサマースタンプラリーの事業をしていたんですけれどもこちら市で実施する観光動態調査と一本化できるというところで、こちら 0 になっております。25.26 ページの方は変更ございません。

(事務局 城下)

お配りしている 28 ページをご覧ください。一般会計の方が変更させていただいたのが、1 番の会費収入を 610 万円にしていたところ 590 万に変更いたしまして収入合計が 7,266 万円。支出の部 事業費支出 3,440 万 1. 観光宣伝及び観光客誘致を 3,150 万とさせていただいておりまして、運営費支出が 3,826 万円、支出合計が 7,266 万円となります。右の方の特別会計に入ります。こちらは最初にお配りした方と変更はございませんで収入合計が 5,468 万円、支出合計が 5,468 万円となります。以上です。

(事務局 赤木)

補足で説明させていただきます。こちらの別刷りの資料なんですけれども補助金の収入額のところでございます。当初の予算は前年度と変わらない金額で予定をしていたのですが、市との折衝の結果 - 1,315,000 円で次年度は補助金が 6,000 万円となっております。それに伴いまして支部予算を増額の案でいただいていたところもあったのですが、増額をしない形で前年度と同額で執行していただくという形で行ければと思っております。補助金が減っておりますので、本来であれば食のキャンペーンであったり支部事業の予算については減額されるところではあったのですが、今年度会費の見直しをしまして会費が当初よりも増額しておりますので、それにおきまして支部の予算が本年度と変わらないという状況になっておりますので、併せてご報告させていただきます。4 番項の予算残につきましては先ほど何回か説明させていただきましたとおり今年の支部であったり本部の事業の繰り越しにつきましては天草観光商品券の発行に充てさせていただければと考えております。事務局からは以上になります。

(馬場専務理事)

はい、遅刻して申し訳ありませんでした。ここから私の方で議事進行をさせていただければと思います。それでは4番項まで来年度予算残についてまでご質問等ありましたら受けさせていただきたいと思います。よろしいですかね？よろしいようでしたらご承認いただいてよろしいでしょうか？

(理事)

全会一致で承認。

(馬場専務理事)

はい、それでは4番項予算残についてまでご承認いただいたということで進めさせていただきたいと思います。それと令和2年度の新予算額については29ページに書いてありますので、ご確認ください。続きまして5番項、令和元年度予算補正について事務局の方からお願いします。

(5) 令和元年度予算補正について

(事務局 城下)

50ページをご覧ください。一般会計収支予算第2回補正 補助金収入で熊本県より100万円いただきました。51ページの事業費の観光宣伝及び観光客誘致のところに100万円入れております。運営費の方が理事の変更に伴う証明書の発行手数料が租税公課のところから出していたのですが、雑費を作った方がいいだろうという税理士からの指摘がございましてそちらの方に賃借料が21,000円入れさせていただいております。以上です。

(馬場専務理事)

はい、よろしいですか？

(山本会長)

100万円は夜美鍋キャンペーンの時のやつなんだよね？チャレンジ支援金

(事務局 大塚)

はい、間違いございません。

(馬場専務理事)

夜美鍋キャンペーンの時、県からいただいた予算を収入にいれているということだと思います。今の件につきましてもよろしいでしょうか？

(理事)

全会一致で承認。

(馬場専務理事)

はい、それでは5番項も承認いただきました。続きまして6番項、新規会員並びに退会について承認及び報告をお願いします。

(6)新規会員並びに退会について

(事務局 城下)

今日お配りしました 52 ページ A4 の横版をご覧ください。新規会員の承認について(有)宝島 本渡支部 1 口 10,000 円、天草ローカルラボ株式会社 本渡支部 1 口 10,000 円、有限会社日光観光社 1 口 10,000 円賛助会員、こちらの日光観光社は 4 月からの入会となります。退会は報告となります。山下みやげ品店、EAT730、cafe TAN-TON、斎藤健一様、山並由常様、フードショップにしだ、天草漁業協同組合、天草南蛮屋、大石総合造園、カラフルツーリズム会ブルーアイランド天草、ベルローズ、味乃、菓子工房ルモンド以上となります。

(馬場専務理事)

今報告がありましたように入会が 3 社、退会が 13 社ですね。退会の理由とかどのようなご商売をされているかというのも業種のところに一応いれておりますので、ご覧いただきたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか？

(山本会長)

一ついいですか。廃業のためとなっているところが、廃業しますので、退会しますという届をするのはほぼないと思いますので本渡支部も 2 件ぐらい廃業されているところがあって会費もとれていないですね。やめられてもういらっしゃらないので、そういったところは

(崎本理事)

支部長で出してそのあとは支部で廃業されたところは支部でだしていいのでは。

(山本会長)

支部からあげているということですね。そういうふうにしてもらおう。本渡の方も 2 件ぐらい会費が未納というところで営業もやられていないと思いますので、支部のほうから退会届を出してもらいましょう。

(馬場専務理事)

今本当にそういうところが増えてきています。特に天草は高齢を理由に事業をやめられてというところもお聞きしますので、そういうところが事業継承というところで残って行けばと思いますのでしっかり考えていきたいなと思います。それでは入会及び退会についてはご承認いただいでよろしいでしょうか？

(理事)

全会一致で承認。

(馬場専務理事)

はい、ありがとうございます。それでは 7 番項海開きについてということで協議に入りたいと思います。

(7)海開きについて

(山本会長)

海開きについてなんですけれども3年前から各支部で海開きをしていたのを観光協会で一本化で予算をつけられるのは一つということで持ち回りではないですけど海開きをしてくださる支部をお願いをしているという状況だったんですけれども、なかなか海開きをしたいということも支部で出ていただけてなくて、そういう風な中で一番初めに海開きをされるところが天草の中でも牛深支部さんがですね、県内でも最初の海開きということで大概いつもメディアとかでもとりあげていただいていたので、今年もし海開きをするところが、うちがやりたいという支部がなければ牛深支部さんをお願いをしたいという風に考えているのですが、もし各支部の方で今年のうちが海開きをやりたいというところがあれば話を出していただいて、そうでなければこちらから牛深支部さんにお話しをしようかなと考えていますがいかがでしょうか？

(濱崎理事)

できれば天草支部の方で海開きを受けたいと思います。今も高浜の方で海の家が地区振興会で指定管理をうけてますので、去年支部で海開きをしたんですかね？

(田中理事)

予算が少ない中で神主さんと呼んでちょっと遅れたんですけどしたものですから、今年はちょっと早めにしようかなと日程は決めてませんが、一応日程を決めてこちらの中でもそういう流れがあったものですから今回は白鶴浜も海水浴場のひとつですので、そういうのをきっかけにいただければ非常に助かるなと思っていますので

(山本会長)

他の支部さんで予定があられるところは

(山下理事)

牛深の方でも他のところで手をあげるところがあればそちらにお願いしてくださいということで

(山本会長)

そうしたら天草支部の方でやっていただくということで事務局とも打合せをしていただいてその分の予算もとっておりますので

(事務局 赤木)

一ついいですか。時期の確認なんですけど、ここから打合せになると思うのですが、観光協会の海開きはなるべく早くしてほしいと前からずっとメディアなどの関係上県内でも1番にしてほしいということで5月とか6月とかという話がありましたので、そこだけちょっと時期を協議させていただいて報告させていただければと思います。

(田中理事)

私もそのつもりで、予定ではだいたい5月の連休か連休明けぐらいを予定しています。コロナの関係

と事業委託で白鶴浜の施設の老朽化に伴い天草市の方で建物の取り壊しが始まるんですよ。宿泊施設が老朽化で危ないということで。それが入りますのでできればそれが入る前にできればと思っています。それが今年中に整備されるので、できればいろんなイベントを白鶴浜を中心にして地域を巻き込みながらできればいいのかなと思っているのですが、なんせコロナがこういう時期なのでどうなるのかな、できるのかわからない状況なので、できれば予定は決めておきたいと思います。うちでよかったですかね？

(山本会長)

はい、他がいらっしゃらないようであれば。

(馬場専務理事)

みなさんよろしいでしょうか。今年は白鶴浜をお願いします。それでは8番項事務局長の任期についてというところに入ります。

(理事)

全会一致で承認。

(8)事務局長の任期について

(山本会長)

こちらはですね、昨年質問をいただいておりましてその中でも事務局長の任期というのが今までもっと決められていなくて、決められていないということはずっとできてしまうということなので、やはり任期を設けた方がいいのではないかとということも3役の中でも話し合まして任期を決めさせていただきたいなど。ただ再任は妨げないということで任期という形で終わりがあるという形にしたいなど。ただちょっと懸念しているのが会長が2年ずつ交代なので重ならないように。一緒に交代ということになると事務スタッフが大変になるので、会長交代の次の年、2年なら2年、4年なら4年でも会長交代と一緒にならないように、重ならないようにした方が事務局が全くわからないという風になってしまうのではないかと思いますので、任期もここで話し合っただけならば引継ぎというふうなまいくのではないかと。新しい会長が変わっても事務局長がいるので、事務局長が変わるときには会長がいるので進みやすいんじゃないかなと組織としてはそう思うので、そこを頭に入れていただいて事務局長の任期を協議をしていただければと思います。どれぐらいの任期がいいのかがさっぱりわからないので、会長と同じように

(濱崎理事)

2年でいいと思う。

(松本國雄理事)

2年で再任は妨げないと

(山本会長)

そうですね。それではそういう風にここで皆さんの了承を得られるのであれば

(松本國雄理事)

今まで規約としてなかったからそれは必要だと思います。任期は任期としてまたやっていただいてもいいんですから。

(濱崎理事)

年齢制限を先ほど崎本さんが言われたけど

(崎本理事)

理事さんにしても大体 65 歳とか 70 歳とか。公務員であれば 60 歳とか。おおまかな線はやっぱりあった方が。

(松本國雄理事)

今は 80 時代だから

(山本会長)

年齢についてもあった方が・・・協議はしてもいいと思いますが今回は事務局長の任期ということで今の話であれば 2 年ということなので、私が来年度終わりますので、その次の年度で終わるといような形で今回はさせていただいてその時にまた新しくするのか引きついでもらうのかという協議を理事会でいいのかな？

(崎本理事)

理事会承認でしょうね。

(山本会長)

理事会承認ということですね。その時の理事会で議題として上げるということ

(濱崎理事)

事務局長あたりは理事会の承認。

(山本会長)

半年とかで理事会に上げないと

(事務局長 赤木)

そうですね。私がたたき台を作るのですが、総務委員会などに付託していただいて、理事会で審議していただくということで

(濱崎理事)

ついでに理事の任期も決めたら？

(山本会長)

総務委員会で規約等は話していただくということで、それで理事会にだしていただくということで

(濱崎理事)

理事会に出していただくということでいいと思うんだけど、例えば任期がきました、再任を妨げないでいいんですけど公募するという話ですよ。誰か手を挙げてきましたよ、そちらがよければ変えてもいいし、今の事務局長がよければそちらにしてもいいしということですよ。

(田口理事)

逆に事務局長というのは私たち理事と違って継続性をもって陣頭指揮をとっていかないとはい2年で変わりました、はい2年で変わりましたっていうのはちょっと難しいと思うんですよ。ある程度事務局についてはそういう配慮も必要かと。理事は各地区で選ばばいいわけですから。年齢制限を設けるというのは一つの考え方でしょうけど幅広くですね選んでいただくことが必要ではないかと思いますが、事務局長がころころ変わるようでは好き嫌いが反映されるようなやり方でもいかなでしょうし。常識の範囲内でやっていくということにしとかなと。

(崎本理事)

前職の事務局長のように自己都合でやめていったというときは公募ということもあるんでしょうけど、それを会長が再任しようと思うのであれば理事会にそのまま提出して理事会で承認したらいいという方法が普通だと思います。

(濱崎理事)

規約だけは作つとかなないと。なあなあになつたらいかんから規約だけは。一応2年なら2年として。今簡単に辞めさせる訳にはいかんでしょう。その中で会長副会長が決めて再任してもいいわけだから。本当に事務局長がいかんと時だけ。でもそうしていかんと。常識程度で

(馬場専務理事)

総務委員会で揉んでいただいてという事がいいのかなと

(田口理事)

今まではないんでしょう？

(山本会長)

今までは規約としてはないんですね

(馬場専務理事)

事務局長、事務局長としての立場として何かあれば

(事務局長 赤木)

一つだけ、例えば考えたときに任期は私としては問題ないのですが、急に来月から来なくていいよと

なったときが私も家族があるので、それに伴うリスクというのは事務局長に(私以外でも)伴う可能性があるのですが、そこらへんを含めて考えていただかないとなかなかそのリスク背負ってやるっていうのはちょっとどうかなというのは正直あります。商工会議所さんとかは職員の方が上がっていった定年があるのでゴールがある程度見えている状態ですが、私が35歳なので、単純にあと30年間ぐらいいようと思えばいれる状態なので、そういう問題が発生してしまっているのかなと思うので、そこらへんも含めてぜひ総務委員会で話していただければと思います。

(山本会長)

それではその話は総務委員会で話し合っていて理事会に上げていただければと思います。任期を設けるといことはおおむね皆さん同意ということで規定について総務委員会で話をさせていただきますようお願いいたします。

(馬場専務理事)

8番項事務局長の任期については今後総務委員会で協議していただいて理事会に上げていただきたいと思います。非常にシビアな問題で難しい問題で簡単に答えが出るとは思いませんが、慎重に将来に向けて考えていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。それでは9番項その他になりますけれども何かありますでしょうか。

(9)その他

(事務局 赤木)

事務局から何点かありまして令和2年度の予算及び事業計画のところで1つ報告が抜けておりまして今支部の事務局業務につきましてでございます。支部の事務局につきましては天草町、五和町、有明町、天草東支部につきましては外部の事務局の方に委託している状況でございますが、天草東支部の事務局を先ほどご説明したとおり塚本に委託する予定ではありますが、基本的には事務局業務につきましても各5万円ずつを年間で値上げさせていただいて事務局業務を担っていただけないかなとそれを足すと25万円ぐらいになりますので、その経費につきましては会長と協議をしまして会長決裁枠の方で調整させていただいて、いったん値上げをさせていただいてお願いできないかなと考えております。本来先ほど説明すべきところだったんですが、そこも一応承認していただければと思います。

(馬場専務理事)

ごめんなさいちょっとわからなかった。今のは塚本さんに？

(事務局 赤木)

そうではなくすべての事務局業務を外部にお願いをしているのですが、その金額につきまして一律5万円ずつ値上げをさせていただいて各支部事務局を担うところも少なくなってしまうのでそういったところを含めて値上げをさせていただけないかなと思って。

(山本会長)

東支部さんの事務局業務について外部委託をしようと思っいろいろな所をお願いをしたのですが、引き受けてくださるところがほぼなくて金額が少ないから分からないのですが、金額に合わないん

じゃないかなという所も外部委託をお願いしているところも決して満足のいく金額ではなくて他のこともされてるので受けてくださっているところも多いので外部委託で事務局を委託するのであればもう少し金額をあげなくてはいけないのではないかなというところを事務局から相談もありまして。皆さん安く引き受けてくださっているのですが、全体的に底上げということで+5万円ずつぐらいは上げないとやっぱりやってはもらえないし、今年は予算の組み換えが難しいので、会長決裁枠もございまして、その中から出させてもらうような形で一律少しずつ上げてさせてもらおうかなというところですよ。

(濱崎理事)

観光協会の事務局の中ではできないのかな？

(山本会長)

それがやっぱり事務局の業務を見直しているときになかなか難しいだろうなということで外部委託をそれぞれにしているのよ

(濱崎理事)

さっきやめると言っていたが、なんでうちの協会は優秀な人がやめるの？不思議なんですよ。機会があるときに観光協会どうなの？と尋ねたときに洗濯機があるのに川で洗濯をしているのが観光協会の現実という風に聞きました。アナログからデジタルに変わってないと。パソコンのできる人がいないよ。協会の経費で勉強していたということですよ。本来であればそういうのは自分ですべき。協会の経費で勉強会があるのもおかしい話。何が言いたいのかという前と一緒に、優秀だなと思うとやめていくものだから何に原因があるのかなと。マリンスポーツもやってみたいだし、パソコンも詳しいし、なんで利用しないのかなと私は思うんですよ。やればできるんでないかなとデジタル化したら。できません無理です外注。それでいいのかなと中身知らないで忙しかもんなって。う。

(山本会長)

デジタル化については事務局内のデジタル化というよりは問題があるといわれているのは事務局が担っている他の人とのやり取りですよ。例えば全部の宿泊施設などがメールでやり取りができなくて電話でやりとりしないといけないとか、案内人の会についてもひとりひとり電話でお願いをしないといけないという風なところのデジタル化が進むと業務が楽になるのではないかと思うのですが、自分たちの業務については色々と改善をしていて、デジタル化というか効率を上げるために塚本もパソコンで色々なソフトを作る方にいた人間だったので業務の改善ということでいろいろと中の業務を改善してくれているので、業務の中の改革というのは進んでいて言われるほどみなさんでもできないっていうほどではなくてうちの事務局スタッフは割とできる方だと思うんですけど、外とのやり取りはうまくいってないと思うところもあってそこは今協議をしているところも多いんですけど。認識が違う部分はあると思うんですけど。自分たちのところでやれるのが一番いいことなのかもしれませんが、そこをどういう風に見直しをやっていくかというのを業務の内容をどういう風に見直ししていくかというのを今事務局内では話をさせていただいているので、業務改善というか案をだしていただいているので。

(馬場専務理事)

いい人材がやめていくというのは観光協会に限らずうちもそうですし天草の企業さんみなさん思っ
らっしゃるところはたくさんあると思いますので、私の施設に私も携わったこともありますけれども
そういう方が来られるかといえばそうでないこともあります、会長が言われたとおり今のスタッフ、努力
もしてますし、先ほど言われたとおり実際の仕事のレジが無人化するとかですねそんな時代にいろ
んなことを電話で何十回もしなければ成立しないようなことっていうのを改善していく必要はあるの
かなと。あとアンケートとかですね、そういうのもどうにかしていかないといけないのかなと思うん
です。そういうところから省いていってできる限り本当に企画だとかそういうところにスタッフのみな
さんの力を入れられるような環境を作ってあげないといけないなと思います。ぜひそういう提案をして
いただいて予算をかけていければと思います。今回は塚本さんが残念ながら辞めていかれるとい
うことなんですが、彼女の代わりをもう1人入れるということをやらずに今の人員でやっていこうとい
うことしておりますので、ぜひみなさんご協力をお願いできればと思います。よろしでしょうか？

(山下理事)

令和2年度の支部予算について本渡の予算より牛深の予算の方が多いのですが会員数にした
ら本渡の半分なんですよ。牛深の予算が多いので皆さんの意見を聞きたいんです。これでいいん
でしようかね。悪いような気がして

(山本会長)

よその支部がどんな活動をされていてそれがどうなのかというのはなかなか言いにくいような状態
で、なかなかそこに踏み込む方はいらっしゃらないんですけど、私が本渡支部の支部長だった時か
ら支部予算を減らしてくれという風に言われたので今本渡支部と逆転したのはもともと本渡支部は5
年前ぐらいは300万ぐらいあったんですよ。それをだんだん私が減らしたような状態にして今130
万になっている。牛深さんの方は会員を増やせば支部の予算ももらえるみたいな形に会費が少ない
のに予算をもらうのはおかしいだろうと考えられて会員を増やす努力をするので予算をくださいとい
うような形で会費を増やされて行かれたんですよ。牛深支部の会員さんを。それでちょっと増えて
いって今逆転しているという形になっていて、会員数が上回ったわけではないんですよ。私が支部
長の時にはそんな感じでした。会員数を増やしていくので予算を少しあげてくれというような要望をさ
れて毎年牛深支部さんも少しずつ上がっていくような状態です。私は本渡支部が1番もらって当然
だろうみたいな流れだったのを本当に必要でないところは削ろうという話をして結果がでなかったら
その予算を少し縮小して結果がでるところに振り分けようという形に支部でして少しずつ減らしてき
たような感じです。今逆転してることに對していうと費用対効果があればそれでいいんじゃないかな
と思っていて、費用対効果が見えにくいというのはどうなのかなと。これぐらいの予算をつけてどれ
だけ観光に寄与しているのかというのを。本渡だと何もなくてもお客さんが来るので、そんな地域と
そうじゃない地域もあるので濱崎支部長が言われているのはそうじゃない地域だからこそ予算
をつけないといけないんじゃないかと言われるので、そういう考え方もあるのかなと思っています。支
部支部での考え方があるのかなと。本渡支部はもう少し削っていきけるんじゃないかと、その代わり結
果を出してたくさんもらうように交渉しようとはなっているんですよ。結果がでてなくて予算の大き
い事業を削っていつてます。

(濱崎理事)

会費で支部の予算を決める必要はないと思うんですよね。なんでかというと全部が会員の会費で予算を運営しているのであればいいんですけど9割が市の補助金ですよ。市長もいうように観光振興をしないといけないんですよ。であれば観光消費額・費用対効果、観光消費額の多いところが…と言われたですよ。何を言いたいかといえば会費云々ではなくて重要な地域だけやれば良いということではなくて伊勢えびとかうにをやっている地域にどうしても集まるんです。下田だけが潤うのではなくて観光協会というのは相互補助下田と牛深と連泊というのをやって牛深を引き上げる。倉岳と組むとかね。下田は観光資源として温泉があって陶石があり文学があり観光資源が集まっている。であれば集まるところに集めてその波及効果で引き上げるところを引き上げた方がもう少しまく地域を引き上げるようなそういう風に持って行った方がいいと思うんですけど。以上前2重補助というのがあったでしょ。市が補助して観光協会が助成したらおかしいじゃないかということで子守唄サミットをやっているんです。宿泊者もそうです。行政から補助金もらってやらなければ観光協会がやる必要もないと思うし。補助金をもらっている団体が補助をするのはおかしいと。そういう話を今後していかないといけないし、お互い観光協会にメリットがあるようにしていかないと。今はコロナでみんな困ってます。2月まではだいたい前年度並だったのが3, 4, 5は特に大きいところ、望洋閣あたりは昨日の話ではいつもだったら100人いるところが3人、4人。団体が来ない。終息も見込めない。アンケート調査をしました。観光協会として何ができるんですか？こんな状態です。なんとか市政はありませんかと国・県の対策を出すのの繋ぎに何かをお願いするとかですね。そういう事をしていかなければ。観光協会出ても来ない、現場に。何が困ってますか？消毒がアルコールが足りないんですよ、餅は餅屋に頼めばっていうのでうちは解決したんですよ。区長さん・振興会・旅館組合としてコロナ封じ込め作戦としてうちは消毒液を60ℓ確保しました。マスクも確保できます。手洗い・うがい。外出先で消毒するのではなく、各家庭に配ろうと。封じ込めて旅館とか公衆浴場が一番だからそういうところが徹底してやってくれと消毒液をやったところですよ。何が言いたいかと言うと県が自粛してくれという中で安心してきてくれとは言われたいんですよ。徹底してやっていますよという東京あたりの人は疎開してきませんから。震災の時に4000人ぐらいのお客さんを受け入れたんですよ。県が逆にバス代も出してくれましたよ。被災者を受け入れたことによって。うちはよそよりも落ち込んでいないのは徹底的にネットを利用して部屋の管理を徹底的にやっていますというようなことをね。観光協会として赤木君、今やるべきことは何か困っていることはないですかと現場の声を聞くことじゃない

(平下理事)

話が堂々巡りというかおっしゃていることはわかるのですが、観光協会の職員が回って聞かないといけないのであれば職員全然足りないんじゃないですか。ますます人手がいるのでは

(濱崎理事)

私が言ってるのは文書で資金の情報は、そういう資金関係は商工会とか商工会議所があるんですよ。担当が。そういうのは地域で全部やっています。返済を伸ばせと。税務署も消費税も延期してくれますよ。保証協会も。そういうのは観光協会の仕事というよりも商工会とか商工会議所の仕事。今やれることはコロナを協力してどうにかすることでしょう。

(山本会長)

話を戻して、牛深さんが本渡より多いということに対して例えば御所浦さんとか河浦さんとかはどう

ですか？

(米田理事)

費用対効果という話がありましたが当然それが見えれば全然問題ないと思います。河浦もやりたいことがあればこれからどんどんやっていくということなので、その中で根拠をもって実績を上げてということでやっていきたいと思っていますので、別に僕はその予算自体が多いから少ないからということはないです。

(下田理事)

河浦は今予算減らしてもらっていいと話をしています。なぜかという自分たちでしないのに人からお金をもらって大きい事言ってもみんなが認めないと思ったので、私たちは自分たちで稼いで、稼いだお金を使うという仕組みにならないかなと思って。プールしていいって、今年稼いだお金を次に使えるようにならないかなと。減らしてもらってよくて、減らした中でやっていくし、いつまでもお金くださいお金くださいという時代じゃないと思いますし。私たちは自分たちでできることをしていこうかなと思っているので他の支部がほしいというところにはやっていいのではないかと。

(松永理事)

今までの御所浦は何をしたいということがなかったんですけど、若い人たちがどうにかしたいと言って、上の人達もこれをしたらどうか、これをしたらどうかというアイデアがいっぱい出てくるようになってるので私も財政状況は分かるんですけど、やっぱりやる気が出たときにお金を使ってしないとやる気がなくなったらお金どころじゃなくてどうしようもなくなるので

(下田理事)

自分たちのもらった予算で自分たちの町を元気にしろってことですよ。そうしたらいる人にやった方がいいと思う。

(松永理事)

やる気がある人のところに使うのがいいのかなと。うちがどうのこうの、うちにクレクレというのではなく。やる気がないのにというところではなくて、やる気があるところに。

(濱崎理事)

やる気があるところにはちゃんと出してね。

(馬場専務理事)

これから予算を牛深支部さんもそうだったんですが増額で希望されていて話の中では前年どおりということになりましたけれども、これから先予算を欲しいということになるならば実際こういうことをすることでこういう効果が得られるんだというのをしっかり企画書として理事会に提出するなり、提案をしていただいて

(下田理事)

河浦は全部プレゼンに変えたからですね。欲しい人たちは全部プレゼンに変えました。

(山本会長)

支部事業のということですよ

(下田理事)

もらう人の方が強いんですよ。やる方が強いということを見せたかったんですよ。河浦は。なんかもらって当たり前で、もらってやるぐらいの考えの人もいるので。河浦はそう変えました。

(馬場専務理事)

従来こう使ってきたから今年もこう使うというような予算ありきできたようなところもあるので、どこかでこれを見なおす時期がきたのかなと感じますね。できればブイヤベースの事業をするというような事も書いてあり楽しみにしていますので、そういうところも見せていただきたいと思います。

(山本会長)

支部事業費だけではなく事業費の中には食のキャンペーンの予算配分も見直そうというのは事務局とも言っていますので。こっちは減らしてこっちに移すとか移したからには移した分だけの結果というのも報告とかできちんと出してほしい。今まで数値があまり出てきてなかったんですよ。うちの支部もそうなんですけど、やったけど前年対比効果っていうのがないまま報告されてなかったというのもあり、そういうのは各支部に出してもらって、今こういう風に伸びているのでこうしたいからというような前向きな話になってそういう話をシェアできるようになるのが一番かなと思っているのでそういう風なところを含めたうえでちゃんと協議をしないといけないと限られた予算なので。今年は減って6,000万円になりましたけど来年も間違いなく減ると思いますので、そういいながらなかなか減っていませんでした。来年減るというのはある程度予測ができるわけで。ただこれだけ結果をだしたので出してくれというのは言いやすいと思うのでやるところに出して結果を出して補助もらってるっていうんじゃなくて、うちらがやるとるけんお金ば出せなって言えるように変わるのが一番かと思うので。そういう意見を出してもらえればありがたいなと思います。

(馬場専務理事)

山下さんよろしいでしょうか？

(山下理事)

はい

(馬場専務理事)

ぜひ成果を出す事業を

(山本会長)

それとこのコロナ関連もありまして上天草の観光協会の理事さんから一度天草宝島観光協会の理事とコロナについて話をしたいと。天草の方に出てくるので4月中旬ぐらいに場を設けてもらえないかということで調整をさせていただこうと思います。こちらに来てくれると言っているのですどこであるのかはこれから協議をしなければいけないなと思っているのですが、やっぱりこういう時ですから一回

ちゃんと話した方がいいのかなとできるできないは別としてどういう風な状況なのかちゃんと話を一緒にやることはやって。それぞれでやらんといかんことはやらんといかんことなので。4月中旬ぐらいにみなさんにはお声がけをしようと思います。大変な時期かもしれないですけど、できるだけ出席していただいてお話しをできるようになればいいなと思っておりますので、事務局の方からお声がけをしますのでみなさまご出席をお願いします。

(馬場専務理事)

観光振興課からも中村課長にきていただいていますので、コロナ対策について何か動いている話があればぜひお願いしたいと思います。

(中村理事)

まだ深い内容は決定していないのですが、今の状況で行くと、今来年の予算で組んでいるところを使いながら当初から売っていきたいという部分もあるのですが、その時期についてはうまく判断をしていかなければならないと思っています。市長の方ももっと予算をつけてやっていこうかという考えも持っていらっしゃいますのでその辺についてもはっきりということというのはないんですけど計画を早急に出して協議をしていこうということもおっしゃいましたのでぜひ皆さん方と観光協会とできたらいいなと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(濱崎理事)

一つお願いがあるのですが、旅館も飲食店もこの時期はもうしょうがない。が、終わりを見据えて何か対策を何が言いたいのかというと国が絶対対策を出しますがだいぶ先だと思えますよね。間をつなぐのをなんとか市にお願いできないか。観光協会としてそういうお願いをしてほしいということを行っているんですよね。事務方にだけども四郎観光協会の場合は行政と観光協会では話ができて来年度予算をくみますよということになっている。もう契約している。うちの観光課も今から準備をして行く状況だが上天草の場合はもう準備ができています。局長には話をしました。考えておいてくれと。金額はわかりませんよ。いくらつくか。その時のために考えて準備しときなさいよと予算がつき次第執行できるように。下田の旅館組合と市長と懇談をしてきました。国や県が対策をだすと市も右へ倣えでしょ。天草に観光に来てくださいとは言えないというのが市長の考えですよ。観光協会とか振興会あたりは頑張っていかなとしょうがないでしょう、私たちは国や県にならっていきますよと。上島でどうか一軒宿がやめてるでしょう。現金商売でしょう、うかうかしてたら大変なことになりますよ。早め早め貸付を受けるようにしても利息が増えてくる。返そうとするときに補助金を出さずというようなこともあるんですよ。

(馬場専務理事)

ありがとうございます。今濱崎理事から話がありましたとおりにその話を事務局の中でもしているところであります。具体的に実際の中身については決定まで行ってませんが今そういう情報を集めていろんなアイデアを出してぜひそれはこういう時だからこそそうだと思うんですけど、やっぱり次の準備をするべきだと思うんですよね。しないと安くしますから来てくださいと言っても誰もきません。そうではなく前向きに頑張っているんだということをマスコミなどにPRできるような事業をやっていかないといけないのかなと思います。観光振興課と一緒に事務局にいろんなアイデアを出していただければと思います。それをまとめてみなさんでまた議論をしましょう。

(一社) 天草宝島観光協会

(濱崎理事)

市長も6月補正で予算を組んでもいいとおっしゃっているんですね。今後の対応をできるようにしないただ守るだけはいけないと思うんですね。

(山本会長)

あと1つ、本渡支部で話をしていた時に、ホテル業が暇だと、製造業は人が足りていない状況なので、マッチングして人材のシェアができればと思っている。観光協会で作るということではないが、知り合いとかでしのいでいくという方法もあるのかなと思っている。人手がたりないというところがあれば言っていたらいいかなと思っている。

(下田理事)

この前平下さんと一緒に阿蘇で忙しい人のところに行ってきましたんですよ。今でも忙しいのかなと思って、びっくりしたんですけど、いまきん食堂なんですけど、今も毎日500人来ているそうです。普段が300人だそうなんですけど今500人になっているそうです。話を聞けば食堂だけで満足してなくて今山を買っていらっしゃるそうです。今度山で何かしようと思ってらっしゃるみたいです。常になんか動いてらっしゃいますもんね。

(崎本理事)

横の連携ができて経営者同士で話ができればいいですね。

(事務局 大塚)

みなさんのお手元にお配りしておりますけれども先日から天草生うに三昧がスタートしまして5/31まで開催します。4/4には全国放送の旅サラダも予定しておりますのでみなさんご覧いただけたらと思います。あとみなさまのお手元の方に天草ランチガイドブックをお配りしております。来年度を中心に配布していくんですけれども改定しまして4番目で47,000部刷ったところになります。ホームページのリニューアル今年度の事業にしております3/9にリニューアルが完成いたしましたので、皆様天草宝島で検索していただいてホームページをご覧いただければと思っております。パソコンで見てもスマホで見ても同じように見えるかわいいデザインとなっております。

(馬場専務理事)

ありがとうございます。みなさまご意見等ございましたら事務局の方へお願いいたします。

(松本英樹理事)

それでは皆様スムーズな進行と貴重なご意見ありがとうございました。令和元年度第6回天草宝島観光協会理事会を閉会します。お疲れ様でした。